



# ひやくまん穀通信 第4号

【5月上旬までに移植したほ場は中干しを終了、  
飽水管理を実施しよう！】

## 1 生育状況（6月29日時点）

田植日	地点	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )
5月1日	石立	58.3	22.9	435
5月6日	河合	63.9	19.7	361
5月12日	上柏野	57.2	25.6	485

**中干しを終了  
しよう！！**



茎数が平年より少ない

**5月上旬に植えたひやくまん穀は中干しを終了しましょう**

## 2 中干し終了後の水管理

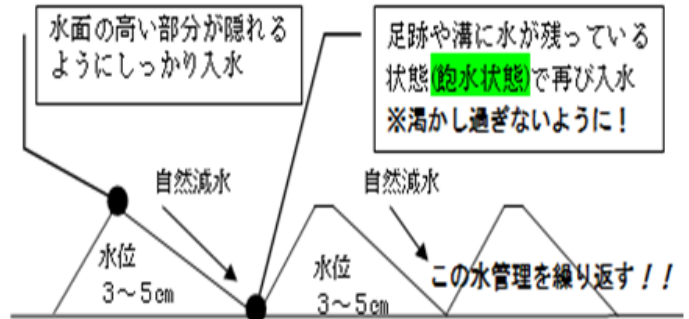
### 📢 飽水管理の実施で高品質化


中干し終了後は、  
3～4日おきに間断通水を実施し、  
飽水状態に保ちましょう。



飽水状態とは  
足跡に水がたまる  
湿潤状態

### <方法>



期間	幼穂形成期～出穂期 (7/11～8/4)	出穂前後 (8/5前後)	出穂後～収穫前 (8/6～9/20前後)
水管理	間断通水	湛水	間断通水
注意点	出穂15～5日前に 低温(17℃)の場合は、 深水にして幼穂を守る。	溜めっぱなしは 避け、水の入れ替えに 努める。 	高温が続く場合、 できれば夜間通水し 地温を下げる。 一時的な異常高温の場合 (強風やフェーン現象等)、 あらかじめ十分に入水し、 稲を高温から守る。

### 3 病害虫防除 (詳細は次号でお知らせします)

使用 時期	微粒剤体系		液剤体系		粒剤体系			
	薬剤名	10a 使用量	薬剤名	10a 使用量	使用 時期	薬剤名	10a 使用量	
1 回目	8月 月上旬	サジェスト微粒剤F 【いもち病、紋枯病、カメムシ類等】	4kg	①ビームエイトレボソル +②モンセレンフロアブル 【いもち病、紋枯病、カメムシ類等】	水100Lに対し ①154ml(650倍) ②66ml(1500倍)	7月末～ 8月初	イモチエースキラップ 粒剤 【いもち病、紋枯病、カメムシ類】	3kg
2 回目	8月 月中旬	ビームスタークル微粒剤F 【いもち病、カメムシ類等】	4kg	ビームエイトスタークルゾル 【カメムシ類、ウンカ類等】	薬量60 ～150L 1000倍希釈	8月 月中旬	スタークル粒剤 【いもち病、カメムシ類、ウンカ類等】	3kg
随 時	カメムシ 多発時	キラップ微粒剤F(随時) 【カメムシ類等】	3kg	スタークル液剤10(随時) 【カメムシ類、ウンカ類等】	薬量60 ～150L 1000倍希釈	カメムシ 多発時	キラップ微粒剤F(随時) 【カメムシ類等】	3kg

#### 📌 ポイント

ひやくまん穀の出穂期は、コシヒカリより6～9日遅いので、  
コシヒカリと同時期に防除しない（防除時期は次号掲載します）。

#### 4 上乗せ追肥の実施について

気温が高く推移し、一発肥料の溶出が早まっています

5月上旬に移植したほ場では、散布時期を早めましょう。  
詳しくは、次号のひやくまん穀通信や現地検討会でお知らせ  
します。

飽水管理、追加穂肥、防除の徹底で高品質なひやくまん穀に仕上げましょう！！

#### 現地検討会のお知らせ ※詳細別紙案内をご覧ください。

日時：7月15日（水）

場所：2カ所で開催

① 10時～石立町圃場

② 11時～上柏野町圃場

内容：生育状況と今後の管理について  
出穂期、上乗せ追肥実施判断など



収穫まで残り2か月！！  
消費者に愛される、  
「ひやくまん穀」に仕上げるため  
これからの管理のポイントを  
皆さんで確認しましょう♪

